

大学院オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》によせて

安田 和信(国立音楽大学講師)

《コジ・ファン・トゥッテ》は日本語に訳すと《女はみなこうしたもの》とでもなるでしょうか。「女性というものの、すべからく何らかの習性がある」という意味で、女性は恋人の男性に永遠の愛を誓っても、恋人と離れ離れになれば、すぐに誓いを忘れて別の男性に乗り換える「習性」をもっていると！しかし、「女はみな」という部分に抵抗を感じる方も多いかもかもしれません。「全ての女性が浮気性というわけではないし、男性だって同じじゃないか!」「何とスキャンダラスな題、あらずか!」と糾弾されてしまうかもしれません。

モーツァルトの死後、19世紀においてこのオペラの評価は《ドン・ジョヴァンニ》、《フィガロの結婚》に比べると決して高かったわけではありませんでした。中には不謹慎なストーリーを批判する人々も。他の2作品に勝るとも劣らない人気を誇る現在からすれば驚くべきことです。しかし、たとえ不謹慎な面があるとしても、恋愛には困難がつきもので、登場する二組のカップル(フィオルディリージ、ドラベッラ、フェルランド、グリエルモ)のような若者たちも苦い経験を積んで成長していくのかもしれない。結局、彼ら四人は、人生の全てを知り尽くしたかのように語る老哲学者(ドン・アルフォンソ)、永遠の愛など業にもしたくない風情の召使(デスピーナ)によって、恋愛の残酷さを思い知ることとなります。原題に付された副題「恋人たちの学校」が象徴するように、彼らは高い代償を払って現実を学ぶわけです。

恋愛がもたらす喜びと悲しみ、苦しみはおそらく古今東西普遍的なものですが、このオペラをとりわけ印象的なものになっているのは、ひとえにモーツァルトの残した音楽によって複雑な感情が巧みに表現され、それが聴き手の心を抉り、惹きつけるからでしょう。大学院生によって歌われ、演じられる《コジ・ファン・トゥッテ》は皆さんにはどのように映るでしょうか。乞うご期待!

小林 資典 KOBAYASHI Motonori, conductor

千葉県出身。東京藝術大学、同大学大学院、ベルリン芸術大学で指揮を専攻。ライン・ドイツ・オペラ(デュッセルドルフとデュースブルク)を経て2008年、ドルトムント市立劇場の専属指揮者として契約、2013年、同劇場の音楽総監督代理兼第一カペルマイスターに就任、ドイツのAクラス劇場で重責を担う。

ドルトムントで21/22シーズンに新制作指揮したサン＝サーンスとギロー、デュカス作曲《フレデゴンド》は、権威あるオペラ専門誌『オーパヴエルト』誌22年年鑑で「最優秀発掘上演」に選ばれた。同誌の年鑑最優秀に絡んだ日本人はこれが初めてである。

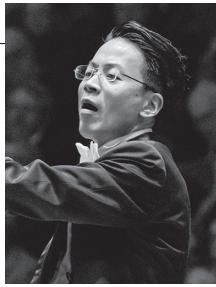
ドルトムントではこれまで《ランメルモールのルチア》、《コジ・ファン・トゥッテ》、《後宮からの誘拐》、《愛の妙薬》、《ピーター・グライムズ》、《オテロ》、《ばらの騎士》、《アラベラ》、《フィガロの結婚》、《ファルスタッフ》などを指揮、レパートリーは多岐にわたるが、とりわけモーツァルト、イタリアのベルカント作品指揮に対する評価が高い。

またベルリン・コーミッシェ・オーパー、マンハイム・オペラなど他オペラ劇場での客演指揮も多数。

バレエは、ドルトムントのほかデュッセルドルフ、ラインドイツオペラやバーデン州立歌劇場(カールスルーエ)などでも指揮、2019年9月、バレエ・アム・ラインの初来日公演指揮にも抜擢された。

コンサートではドルトムント響に加え、客演指揮も多い。また読売日本交響楽団からは2021年以来毎シーズン招かれている。このほか、東京交響楽団、九州交響楽団などに客演予定。

2022年以来、国立音楽大学大学院オペラの指導と指揮に招かれ、教育活動にも心血を注いでいる。



©Jan-Philipp Behr

中村 敬一 NAKAMURA Keiichi, stage director

オペラ演出家。

1957年東京に生まれる。はじめ、武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻、卒業後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のアシスタントとして演出の研鑽を積む。

1989年より、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。帰国後、リメイク版《フィガロの結婚》、二期会公演《ドン・ジョヴァンニ》《ポッペアの戴冠》で、高い評価を得、続く二期会公演《三部作》、東京室内歌劇場公演《ヒロシマのオルフェ》、日生劇場公演《笠地蔵・北風と太陽》で、演出力が絶賛され、1995年ジローオペラ新人賞を受賞する。また、2000年には新国立劇場デビューとなった《沈黙》が、高く評価され、2001年ザ・カレッジ・オペラハウス公演《ヒロシマのオルフェ》で大阪舞台芸術奨励賞を受賞。オペラの台本も手がけ、松井和彦作曲《笠地蔵》《走れメロス》、新倉健作曲《ボラーノの広場》《窓〜ウィンドウズ》、前田佳世子作曲《どんぐりと山猫》などがある。

音楽的な視点と豊かな感性による舞台づくりは広く認められ、また若い声楽家の指導、オペラの普及に尽力している。国立音楽大学招聘教授、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。



17日(土)



18日(日)



フィオルディリージ
瀧沢 幸香



ドラベッラ
湯澤 里帆



フィオルディリージ
岡本 鈴香



ドラベッラ
小泉 明音



デスピーナ
赤壁 明里



フェルランド
高柳 圭



デスピーナ
本名 美里



フェルランド
西條 秀都



グリエルモ
阿部 泰輝



ドン・アルフォンソ
野村 光洋



グリエルモ
杉瀬 芳斗



ドン・アルフォンソ
大槻 聡之介

